

吉野川の美しい渓谷で知られる徳島県三好市の大歩危峡です。今年も全国から寄せられた鯉のぼりが飾られ訪れる人々を楽しませていました。

ごけい たより
互恵便り 第15号



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

中谷石材株式会社

〒761-0121

高松市牟礼町牟礼3766-1

電話 087-845-5006



徳島県・大歩危峡の鯉のぼり 4月16日

ようやく、人と触れ合える社会が戻りつつあります

**「ふれあい祭り」が
開催できますように！**

毎年10月、当社大川工場を会場に「ふれあい祭り」を開催してきました。

残念ながら、令和元年の第12回開催以降はコロナ禍で中止していました。この2年の間、たくさんの方から再開を望む声を届けていただきました。ありがとうございます。

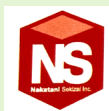
今年こそ「ふれあい祭り」を再開できそうで、私たち社員一同も、今から「ちむどんどん」です！（笑）

**10月が、
今から楽しみです！**

たくさんの方にお会いできる日を楽しみに、少しずつ準備を始めています。



石窯ピザやお餅つき、石磨き体験などで皆さまに楽しんでもらいました。今年こそ13回目のふれあい祭りの開催を！と、今年も案を練っています。



「互恵(ごけい)」の精神を 中谷石材の柱に据えて

苦しかったときに会った 「互恵」という言葉

お陰様です。

「互恵(ごけい)」という言葉は、普段あまり耳にしない言葉かもしれませんが、意味は、「お互いに役立ちあう」「自分だけ良ければいいという、考えや行動をしない」とでも言えばいいでしょうか。私は20数年前に、この言葉に出会いました。それから、この互恵の心を自分の生き方と経営の真ん中に据えようと決めてやってきました。今回はそれを少しお伝えできればと思います。

誰もが1番になることを 目指していた時代

私が若かったころ、世の中は右肩上がりの経済成長が続けていました。少子化でも高齢化でもない一億総中流社会の世の中で、モノはどんどん売れました。個人の収入は上がり、会社の売り上げは増え、国の力も存在感も大きくなっていく。そんな時代でした。

どの会社も競うようにモノを売り、仕事を獲(と)ってきていました。マチで1番、業界で1番、日本で1番になることを目指して頑張る中小企業の社長さんが沢山いました。そのためにトップの号令一下、同業他社・他店から仕事を奪ってでも1番になることを多くの人が目指していました。

私は性格上、人と闘って勝つまで顧客を獲得というのが、どうにも肌に合いません

んでした。もちろん中谷石材も業績を伸ばしていましたが、嬉しいのですが、本音を言うと商いで勝った負けたと日々しのぎを削るのは、あまり性分ではなかったです。

有難いことに、会社は時代の需要もあり毎年成長していきました。そんな時、事業で大きな困難に直面する苦境に出会いました。さらに、そこへ追い打ちをかけるように大火に見舞われてしまったのです。幸いにも人に被害はありませんでしたが、精神的にも大きなダメージを受けました。

逆境下の大きな経験

この逆境下に、声を掛けていただいた方の誘いがあって御嶽山の行に参加しました。私はここで大きな経験をしました。それが、その後の生き方の柱となり今に至ります。

行で得たことに自分なりに取り組みながら、どうにか困難を乗り越えようとしていたときに、この「互恵」という考えに出会いました。「お互いに役立ちあう」「自分だけ良ければいいという、考えや行動をしない」というのは、抵抗なく自分の胸に落ちました。

世の中はかつての勢いを失ったとはいえ、まだまだ弱肉強食で、互恵という考えが受け入れられる空気ではありません。それでも、私は「互恵」という考えを経営の柱にしようと思いました。以来20数年が経ちますが、今も同じ心構えで経営にのぞんでいます。

社長 中谷明生



字彫課の仕事の中から 職人技を要する「金箔貼り」のご紹介です！



①下地処理として、カシュー(漆塗料)を塗ります。これは、糊の代わりの下地のようなものです。



②自然乾燥で乾くのじつくりと見極めながら約一時間ほど待ち、乾いたら金箔を貼っていきます。



③細部まで金箔を施して完成。使用する金箔は純金1号色という金97.5%以上の良質なものです。



④「金箔加工」は汚れが付きにくく、美しい状態のまま文字を保存できます。

アフターケアもお任せ下さい
今月は字彫課の仕事から、「金箔貼り」をご紹介させていただきます。
本物の金箔は派手にはならず、「華やかさ」と「落ち着き」があります。職人技によって施される「金箔貼り」の金色の輝きは何年も続きます。
文字、家紋、飾り彫刻など様々な場所に施されていますが、経年により金箔が取れてしまっても入れ直しが可能です。『墓守』の私たちに、ご相談ください。



中谷石材「わたしの仕事」

大丁場での「採石」

野口浩三・澤井隆・中谷彰吾



大丁場

石材を採掘する石切り場のことを「丁場」と言います。
讃岐の霊峰・五剣山の北西部には銘石・庵治石が眠る4つの丁場群があります。中でも「大丁場」は、藩政時代に高松藩の石を切り出していた御用丁場で、最高品質の庵治石が採れると言われています。
中谷は、明治中期に採掘場を創設してから今日まで5代に渡って、ここ「大丁場」を預かり続けている石材店です。

大丁場の採石を守り続けて

現在、この貴重な大丁場を預かっているのは当社を含めた9社です。
中谷石材では、野口浩三、澤井隆、中谷彰吾の3名がこの大丁場で採石を行っています。先々代社長の孫で最年少の中谷彰吾は、今年37才。19才からここで石を切り出しています。
私たちは、石を見極める目と熟練の技を持つ大先輩の山石工の匠たちと一緒に採石に携わりながら、大切なこの山を守り続けています。

明治中期に採石から中谷は始まりました

当社の採石は、創業者・中谷利吉が石材採掘業を創設した明治中期が始まりです。

昭和24年頃、仕事の中心は石の採掘で、先々代社長の中谷忠雄は山石工として仕事をしていました。まだ敗戦直後で若い者が少なかった時代です。弟の賢次も一緒でした。

庵治石が飛ぶように売れた時代（昭和35年頃）がありました。採掘した石を荷馬車で取引先に持っていくと、その場で現金になるほどでした。県外の人にもよく売れたそうです。

しかし、当時は手掘りでした。石の出る量は少なかったそうです。

会社設立は、1962年（昭和37年）です。これを機に、家業から企業へと転換となりました。

切り出した石10個の中から、使えるのは1個ほど。大きいのは何十トンというものから300キロまで、小さくてもさまざまです。
採石担当の3人は、朝8時〜夕方5時まで、ずっとこの大丁場で石と向かい合っています。



大丁場から望む屋島源平合戦場



現場に立つと巨巻のスケールです



「草むしり日記」 No.42

退職後62才から始めた“草むしり”の仕事は、お客様に喜ばれるので、私には楽しいんです。



みなさん、こんにちは。

草むしり事業部の目川満です。今年で69才。中谷社長と草むしりマイスターの遠山さんは、同級生です。高校では一緒に野球部に入部しましたが、3年間野球を続けたのは私だけ。これは自慢しても良いでしょう(笑)。

卒業後は奈良の叔父が始めた豆腐屋で働いていました。5年で身体を壊してしまい、地元香川に帰ることになり、地元で胃の手術をしました。

豆腐屋さんから 石屋さんへ転職して

手術後、何もしないでいたところに先代社長の中谷社長のお母さんから、うちへ来てくれんかと誘いを受けました。

手術した後ののに声をかけていただき、有り難いなあと思いました。仕事も事務職にしてくれました。それが中谷に入った経緯

です。昭和52年、23才のときでした。

その後、商品の検品や出荷の段取りをする部署に異動。好景気もあり仕事は忙しく、朝は6時には出社していました。施工部の人たちが朝すぐに現場に行けるようにと、前日の夕方には積み荷を準備していました。そうしないと、とてもではありませんが仕事ができませんでした。

忙しさのピークは消費税が3%から5%に変わるときでした。ひと月で墓石550本建立ということもあった時代で、もう身体もガタガタでした。

その部署で61才まで勤めて、退職。1年間のんびり休んでいたら、遠山さんや中谷社長からまた手伝ってくれんかと声がかかり、草むしりの仲間に入りました。同級生に頼まれたらよう断れないですわ(笑)。

今度は、石から草へ

草むしりは今年で7年目になります。初期のころは今と違って、不安もありましたね。

遠山さんと下見に行った現場で、「ここはとても俺たちではこなさきれない」と思った現場がありました。崖の下にある空き家で、茂った草で中がまったく見えませんでした。何が出てくるかわからない。



雑草を丁寧に取り除いてから砂利を敷きなまし、その上に防草シートを貼っていきました。これで安心です。

覚悟を決めてやりました。いざ仕事が始まったら無我夢中です。何も気にならなくなつて、無事に仕事を終えました。ここをやりたいときは、うれしかったですね。忘れられない現場のひとつです。

お客様の声を 直接聞けるところが この仕事のいいところ

草むしりの仕事のいいところは、お客様の声を直接聞けることです。以前の部署ではお客様と接することがなかなかありませんでしたから、お客様とお話しができたり、喜んでくださる姿と出会えるのは私には楽しいんです。草むしりの支援に来たことのある他部署の仲間もみんなそう言っています。

お礼を言わないとならないのはこちらなのに お礼を言われる仕事

「こんなにキレイにしてくれて、ありがとうございます」とお客様が言ってくれるんですよ。

仕事をいただいて、お礼言わないとならないのはこちらなのに。

アルバイトの方々も、年だからもう無理やーと言う人が意外と少ないのは、お客様の喜ぶ声がじかに聞けるからだだと思います。中には庭木の勉強のために、職業訓練校に通い始めたアルバイトの方もいました。

毎年のように熱中症にもかかっていますが、私も暑さは意外と気になりません。きれいになったときの喜びの方が大きいからかなあ。

私は、中谷石材の先代の社長夫婦に大変お世話になりました。もちろん今の社長にもお世話になりました。その恩返しをしたいと体の続く限り頑張るつもりです。まずは70才を一区切りと考えて、週末は体をメンテナンスしながら、今年も頑張っています。





安心してお任せいただいています！

おくさま感激!!
草むしり.com



チームリーダー
佐々木茂綱

お世話になっております。
私たちはお茶出し不要です。

アルバイトも追加募集中です。
一緒に働いてみませんか？
週に1回からでも、無理なく自分の
可能な働き方もできます。



創業12年・年間1600件余の施工実績あり

墓所・お庭の困りごととは、お任せください

草刈りの本格シーズンはこれから。見積もりは無料。お気軽にご相談下さい！



剪定は、毎年ご予約下さるリピーターが多いです。お早めにご予約を！



予防

「草むしり」で困っていませんか？お役に立てます



お問合せ時間：8時～18時

フリーダイヤル



0120-148-144

基本料金 3,300円(税込) +
草むしり 110円(税込)/1㎡より
剪定・伐採 1,100円(税込)/1本より



創業以来100余年、寄せぬ明日へ祈りの心を...

中谷石材株式会社 内事業部

草むしり.com 高松

〒761-0121

高松市牟礼町牟礼3766-1

今月の社長のコラム

お陰様です。

北海道知床でいたましい事故が起きてしまいました。まだ不明の方も合わせる、26名もの方々が犠牲となる大きな海難事故です。亡くなられた方のご冥福を祈ると共に、ご家族の皆さまに心からお悔やみ申し上げます。

利益より安全優先がプロ

連日の報道から窺(うかが)い知れる限りでは、この観光会社の社長さんのこれまでの経営判断には、疑問を抱かざるを得ません。仕事の舞台が海の上という、きわめて専門性が要求される仕事であるにもかかわらず、ベテランの船乗りさんを大量に解雇してしまっていることや、知床の荒海には向かないであろう瀬戸内海で運航していた船を使っていたこと、いざというときの命綱である無線設備の管理がずさんであることなど、すべてが利益優先で安全運航をおろそかにしている証左です。



社内研修の様子(3月)
当社は一人一人の学びたい意欲を応援します。

失礼を承知で言わせていただく、私にはプロの経営者が判断して進めてきたこととは到底思われません。

利益よりもお客様の安全を優先するのが、プロフェッショナルの社長のほうです。バスもタクシーも航空機も、利益よりも安全運航を優先する社長さんたちがいるから、私たちは安心して毎日利用できています。目先の利益しか見えなくなってしまうこと自体が、アマチュアの経営者と言えます。

士業と呼ばれる仕事があります。弁護士さん、税理士さん、保育士さん、看護士さんなど専門的な資格が必要な方々の職業を士業と呼んでいます。学校に通い基礎的な知識を学び、最後は国家試験を受けて合格して初めて、その仕事に就くことが出来ます。

ところが経営者には、そういう資格が必要ありません。誰でも社長になれるのです。そこが会社経営の怖いところです。

プロの経営者を目指して

私も社長を引き継ぐ前の15年間は、副社長として仕事をしました。そこでいろいろな経験を積んだあと、社長となりました。副社長の経験は大いに役に立ちましたが、それでも社長の大変さは別格でした。必死で勉強を重ね、色々な方から学ばせてもらったお陰で、今日まで会社をやつてこられました。

会社を経営するのに資格はいりません。だからこそ社長は、つねに自分の方から学び続けたいといけないのだと思います。このたびの不幸な事故から、そんなことを思いました。

社長 中谷明生



阿弥陀寺様・参道の敷石を施工させていただきました



「阿弥陀寺」様の境内

さぬき市大川町田面
『阿弥陀寺』様
参道の敷石工事

こちらは、当社大川工場近くの阿弥陀寺様です。

昨年、境内の大きな釈迦如来像と不動明王仏へと続く参道の敷石工事をさせていただきました。

美しく手入されている寺院の通路です。これから長く後世に残ることも考慮して、御影石にて施工させていただきました。次は通路外の部分を砂利に入れ替える予定です。よりいっそう美しいお寺になりますね。

施行部リーダー：中谷浩一朗

阿弥陀寺様の無縁墓



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...



中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1

電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

電話 087-845-5033